

# 実行計画書【青少年会館・センター】

2022年7月28日  
神奈川県ビリヤード協会

## 1. 企画

【公益事業】 神奈川県青少年会館・青少年センター へのビリヤード台の設置活動。

## 2. 目的

ジュニア世代へのビリヤードの普及活動の強化 を目的とする。

## 3. 施設調査の仕方

GoogleMapから「青少年会館or青少年センター」の検索条件にヒットした神奈川県の施設から目視で精査して施設の場所の洗い出しを行いました。

## 4. 施設調査結果

神奈川県下の青少年会館・センターは43施設ありました。

神奈川県下の都市毎に該当する施設を振り分け、同都市にあるKBA加盟店舗の洗い出しを行い担当者の候補を振り分けました。

No	場所	施設数	KBA加盟店名	担当者	計
1	横浜市	12	パラダイスタマプラーザ、ジーク、ルーキー、アロウズ、レールバード、サイドナイン、プールラボ、メッカ横浜	崎村、片岡	8
2	川崎市	2	バディ、スミヨシ、富士、バグース川崎	早瀬	4
3	相模原市	1	ハナチャカフェ、ラリー淵野辺	小日向	2
4	横須賀市	13		必要！！	
5	平塚市	2	アミーゴ、ガイル	惣角、磯貝	2
6	鎌倉市	3		石井	
7	藤沢市	2	コモルーム	石井	1

8	茅ヶ崎市	1	211	惣角、磯貝	1
9	逗子市	1			
10	三浦市	1			
11	厚木市	1	ミッドナイト、ブラッキーズ	上村	2
12	伊勢原市	1			
13	座間市	1	ホワイトハウス	奥村	1
14	葉山町	1			
15	大磯町	1			

43

参考資料

別紙「神奈川県青少年センター・会館数.pdf」参照

別紙「神奈川県青少年センター・会館のgoogle\_map.pdf」参照

別紙「神奈川県各地区別け担当割り.pdf」参照

5. 施設調査結果の課題

課題1 横浜市は広い為、担当者を細かく振り分けたいがKBAとの係りが浅い店舗オーナーを担当者にすると負担となり賛同を得られない可能性がある。(担当者は当人と話し合いのうえ任命する必要がある)

課題2 協会加盟店舗の無い都市は、ビリヤード台を設置したとしても担当者が割り振れないので施設に対してのサポートができない。

課題3 横須賀市は施設が沢山ある。しかしながら、KBA加盟店舗が無い。公益活動を推進していく上で加盟店舗を増やしたい。

## 6. 担当者の役割

担当者は以下の活動を責任をもって実施する。

1. 電話の窓口となる事務局から担当者に連絡が届いた際には、施設の方と連携しメンテナンスやサポートを行う。
2. 担当者は定期的に（年3回を想定）道具のメンテナンスやレッスンをを行い、マナー、ルールの説明を行う。  
ただし、この活動にかかる費用（交通費、時給）はKBAが負担する。つまり担当者は無償のボランティア活動ではないものとする。
3. 担当者は、ビリヤード台のメンテナンスを行うことが目的ではなく、ビリヤードを身近に楽しめる人を増やしその環境を整備してあげられるように配慮する。

## 7. 施設へのビリヤード台設置方針の基本的な考え方

以下の方針に従い、アプローチを掛けていく候補の施設を洗い出し、優先順位をつけていくこととする。

方針1 知り合いの伝手や人脈を借りて設置できる可能性の高い施設からアプローチを掛ける【2022.7.28理事会後に追記】

方針2 人口の多い都市から順番にアプローチを掛ける

方針3 協会加盟店舗のある都市から順番にアプローチを掛ける

方針4 協会加盟店舗の中で、「6. 担当者の役割」を理解した上で賛同して頂ける担当者のいる都市から順番にアプローチを掛ける。

## 8. アプローチの基本的な手段

1. 別紙「神奈川県青少年センター・会館数.pdf」の資料を基にして、ホームページから電話番号を入手し一覧表を作成する。
2. 施設の運営責任者は、県、市、公益法人、自治体と様々、適切な連絡先の入手をその都度確認しながら進め資料として記録する。
3. ホームページから施設の規模、部屋、ホールの大きさを調査し、ビリヤード台を置ける環境でありそうか確認し一覧表に記録する。
4. 電話でのコンタクトが取れたら、ビリヤードの魅力アピールする資料を郵送またはメールしてビリヤード台の設置を検討してもらう。

## 9. 今後の為に

神奈川県以外の都道府県が同様にビリヤード台を寄贈するプロジェクトを実行できるようになった場合、その活動が少しでもスムーズに行える様にしておきたい。よって、参考資料として、これらの活動記録をドキュメントとして極力残していく事とする。